

申
5
号

「2021年度年末手当等に関する申し入れ」

11月10日第1回団体交渉を実施 ②

職場の声を会社へ訴える！！

職場の問題点

緊急事態宣言が解除されて以降、大宮駅の新幹線乗換窓口は周辺のみどりの窓口が閉鎖された影響で、きっぷを買い求めるお客さまで非常に混雑している。逆に、窓口が閉鎖になった古淵駅はMV案内や町田・淵野辺駅みどりの窓口を利用したお客さまへのSF返金処理が増え、労働密度もあがっている。また、サポートコールセンターは平常時でも忙しいのに、列車が遅延すると未対応も増え、一息つく暇もない。



増収では、NewDaysで買い物をし、チャージや旅行先をJRにして、普段からグループ会社にお金を落とすように心がけている。また、カラー印刷を白黒印刷に、片面印刷を両面印刷にしたり、コストダウンも意識して行っている。

異常時対応

10月7日に千葉県沖を中心とした震度5強の地震を観測し、当直の社員は仮眠も取らずに対応を行った。翌日も運転を見合わせ、平日であったこともあり、改札止め対応も行った。さらには、職場まで徒歩で駆け付けたり、各自の判断で行動しお客さま案内を行った。10日には、藤の変電所で火災が発生し、情報共有も少ない中で新幹線振替なども実施され、各駅お客さま対応に追われた。

最近では、小田急線・京王線などで傷害事件等も発生し、危険と隣り合わせでお客さま対応を行っている。

特にお客さまのご利用状況は、非常に見えにくい状態である。一時的に少ない時や多い時もあり、そこはしっかりと利用状況を見極め、必要なところは改善し、判断する。

まず、異常時対応など皆さんに協力いただいたことに感謝申し上げる。また、課題認識をJRに伝えて、安全・安定輸送を行っていく。増収・コストダウンに関しても、意識してやっていただき感謝する。引き続きお願いしたい。

増収・コストダウン

会社からの回答

組合員の努力と苦勞、今までの頑張りに会社は報いるべきだ！